その男、高慢女を
食い尽くす
セレブ令嬢に下剋上
フルカラー
152ページ

- 第1話 -
「社会の縮図」

ギシ
ギシ
ギシ
ギシ

良いじゃない…
貴方のオチ●ポ…
チュブ
ヌチュ
チュブ
ヌチュ

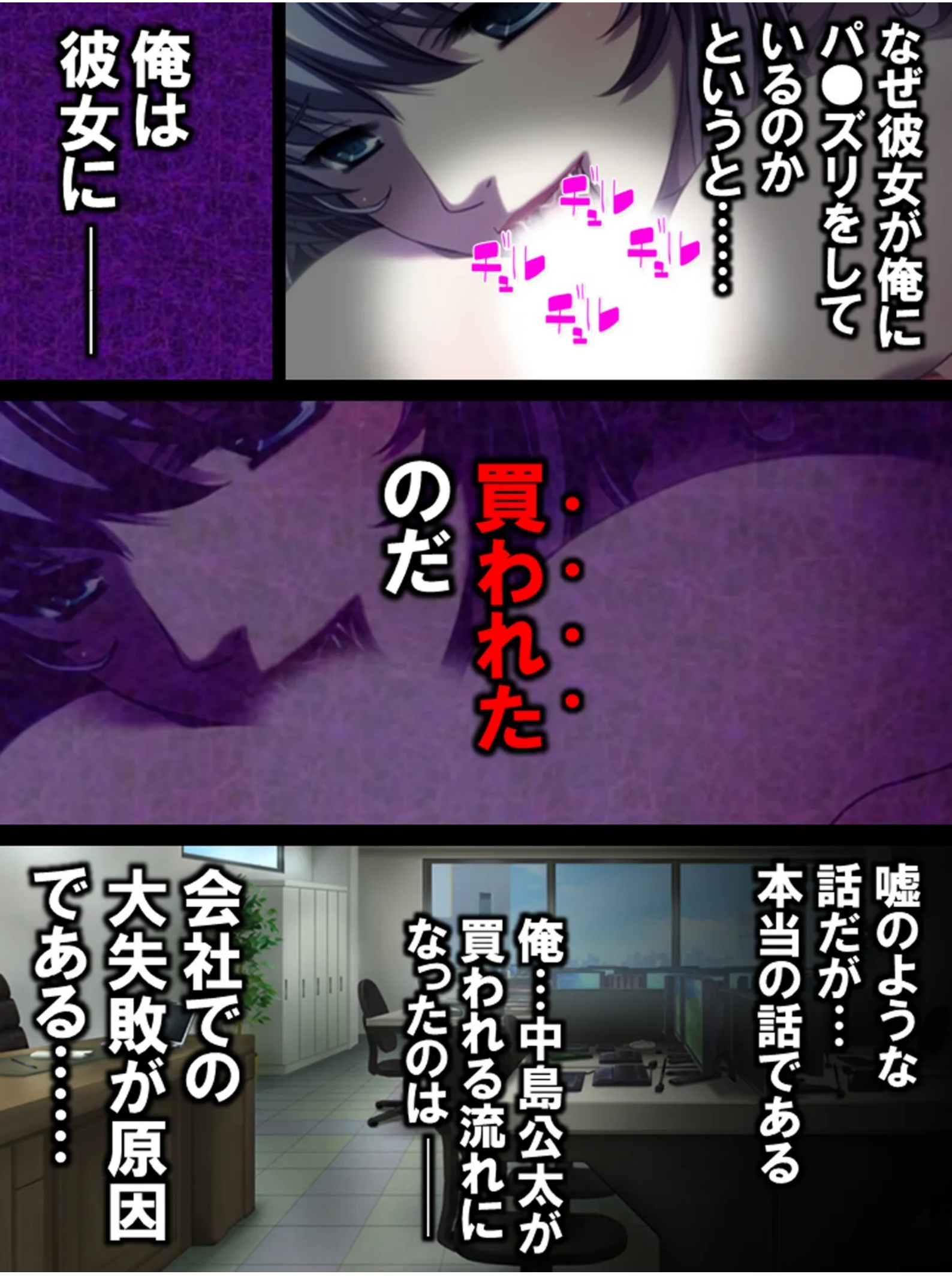
たぷん
たぷん
たぷん
たぷん
私が見込んだだけはあるわ…

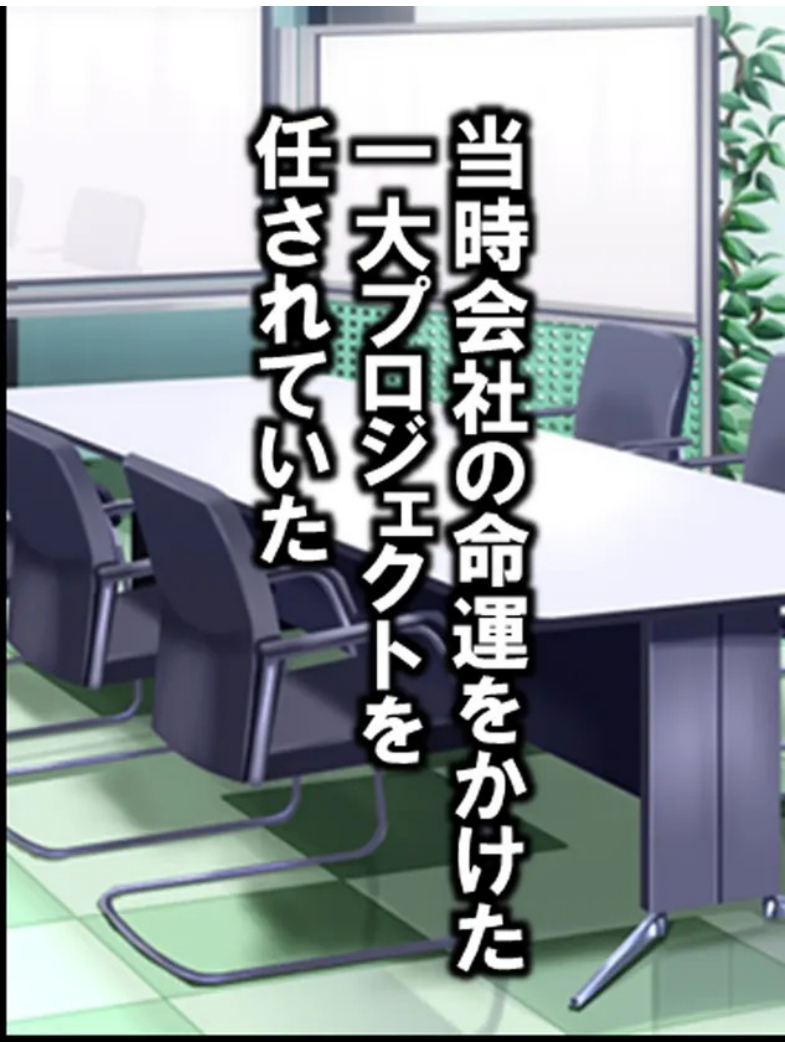
彼女は滝川京子

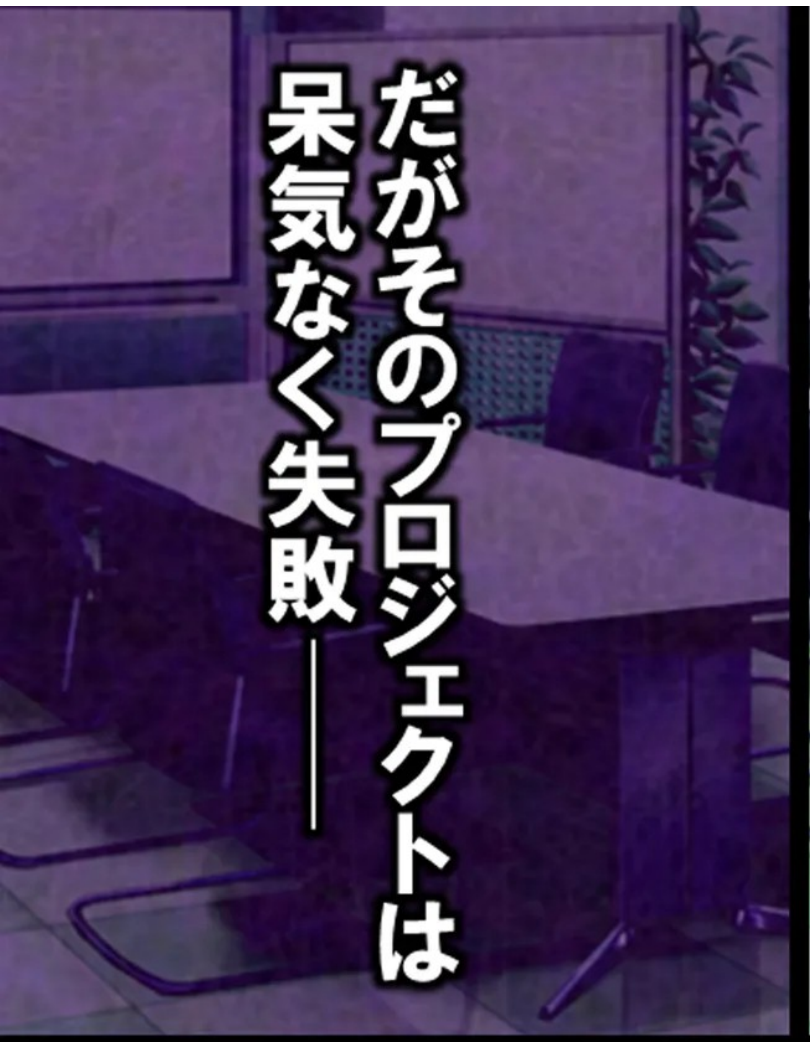
日本有数の資産家の一人だ

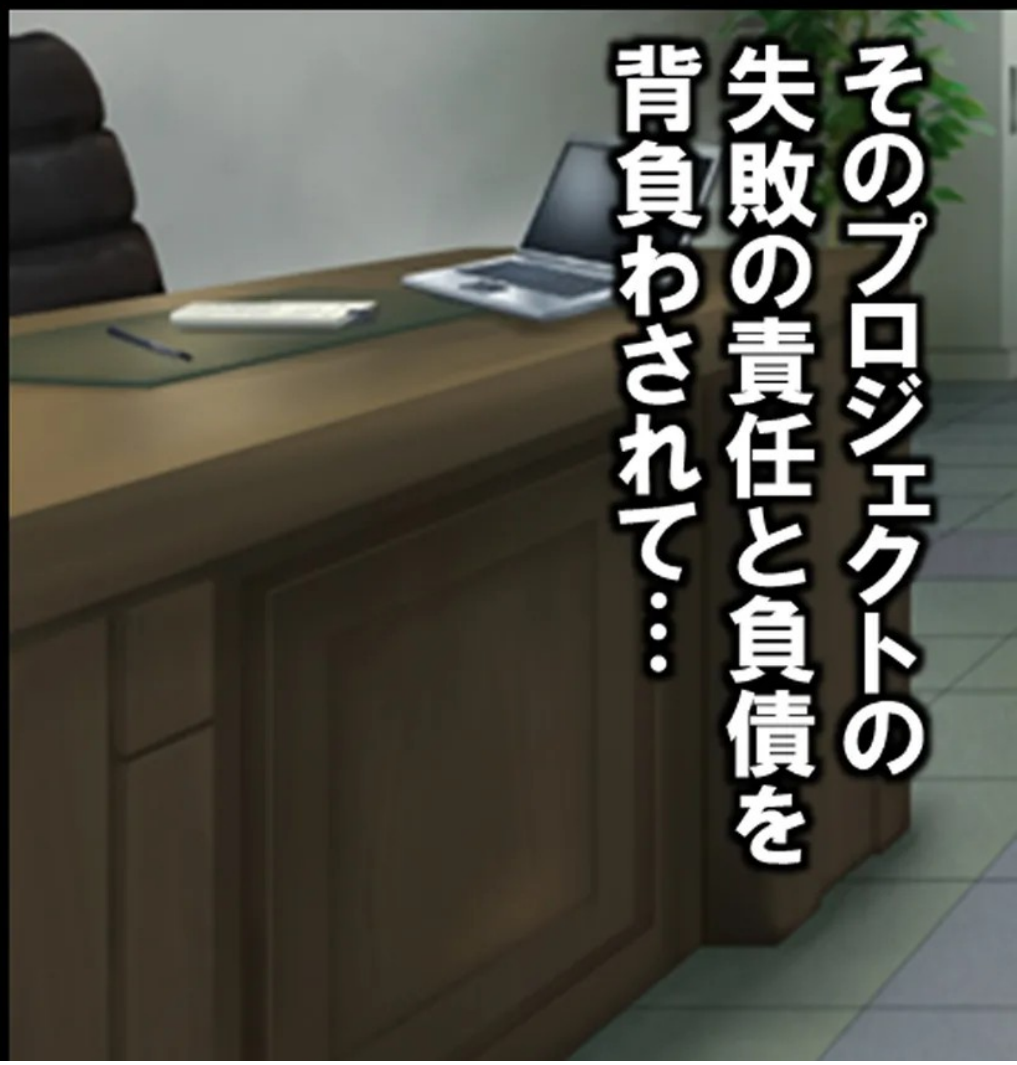
かくいう俺は彼女とは相反していて――

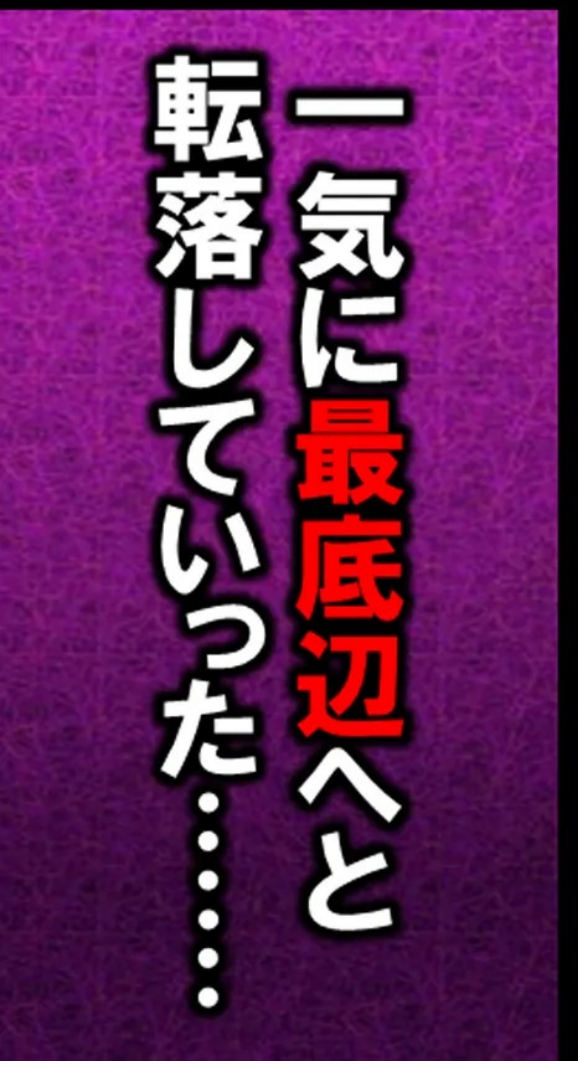
――つい先日会社で大失敗を犯しクビを切られた


なぜ彼女が俺にパ●ズリをしているのかというと……
チュレ
チュレ
チュレ
チュレ
チュレ
俺は彼女に――
買われたのだ……
嘘のような話だが…本当の話である
俺…中島公太が買われる流れになったのは――
会社での大失敗が原因である……


当時会社の命運をかけた
一大プロジェクトを
任されていた


だがそのプロジェクトは
呆気なく失敗――


そのプロジェクトの
失敗の責任と負債を
背負わされて…


一気に最底辺へと
転落していった……

多額の借金…
会社の評判で転職も
絶望的…
更に家賃滞納で住居も
追い出され――

――後は
自殺しかないか
と思われた時……

貴方には
もう人権はないわ
そのなんたらって
名前ももうないわ…
貴方は今から——
ただの
肉奴隷よ！
それから俺の
人生は…彼女に——
チュブ
チュブ
ヌチュ
ヌチュ
——買われた…

ほらほらぁ～
むにゅ♡
むにゅ♡
こんな快楽…
むにゅ♡
むにゅ♡
味わった事ないでしょう？
むにゅ♡
むにゅ♡
むにゅ♡
むにゅ♡
メニュー
メニュー
メニュー
メニュー
メニュー
メニュー
メニュー
メニュー
あぁあああ…気持ち良い…
ハッ♡
ハッ♡
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ハッ♡
すぐに射精してしまいそうです！
ハッ♡

私に逆らう事の重大さ
私の許しなしで射精するのを禁ずるわ
え!? そんな!
びく!
も もう俺――
許可なくイったら貴方はまた路傍の石
ふふ…
分かってるわよね?
むにっ♡
ほぉら!
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡
ほぉら!
チュブ チュブ
チュブ チュブ
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡

あぁあああッ！
ゾクゥウゥウ
ダメですッ！
出ちゃいますぅ！
少しつつけば
地獄へ逆戻り……
最ッ高に
興奮するわッ！

むぎゅっ…

パン!
パン!
ズブッ!
ズブッ!
ズブッ!
ズブッ!
パン!
パン!

ビクン!?
うぁぁあああッ!

うあッあぁあああ！
ビク!!
むにゅ♡
ビク!!
むにゅ♡
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
ビク!!
ビク!!
むにゅ♡

はぁあああ…
ビュビュッッ
精液が溢れて
噴水みたいに
出てきてるぅ～♪
でも私の言う事を
聞かなかったわね…
捨ては
しないけど…
ペナルティを
与えるわ

ふふふ…
こんな所で
ヤった事
あるのかしら？
はぁあああああ…
開放的で
気持ち良いわ！
ほらほらぁ～
入っていくわよぉ～
ニュプッ
ぬぷ…
ぬぷ…
ズブブッ

ズブ…
うぐぅう！
ズパン！
あぁあああ…
太いのが中に
入っちゃってるぅう…
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!

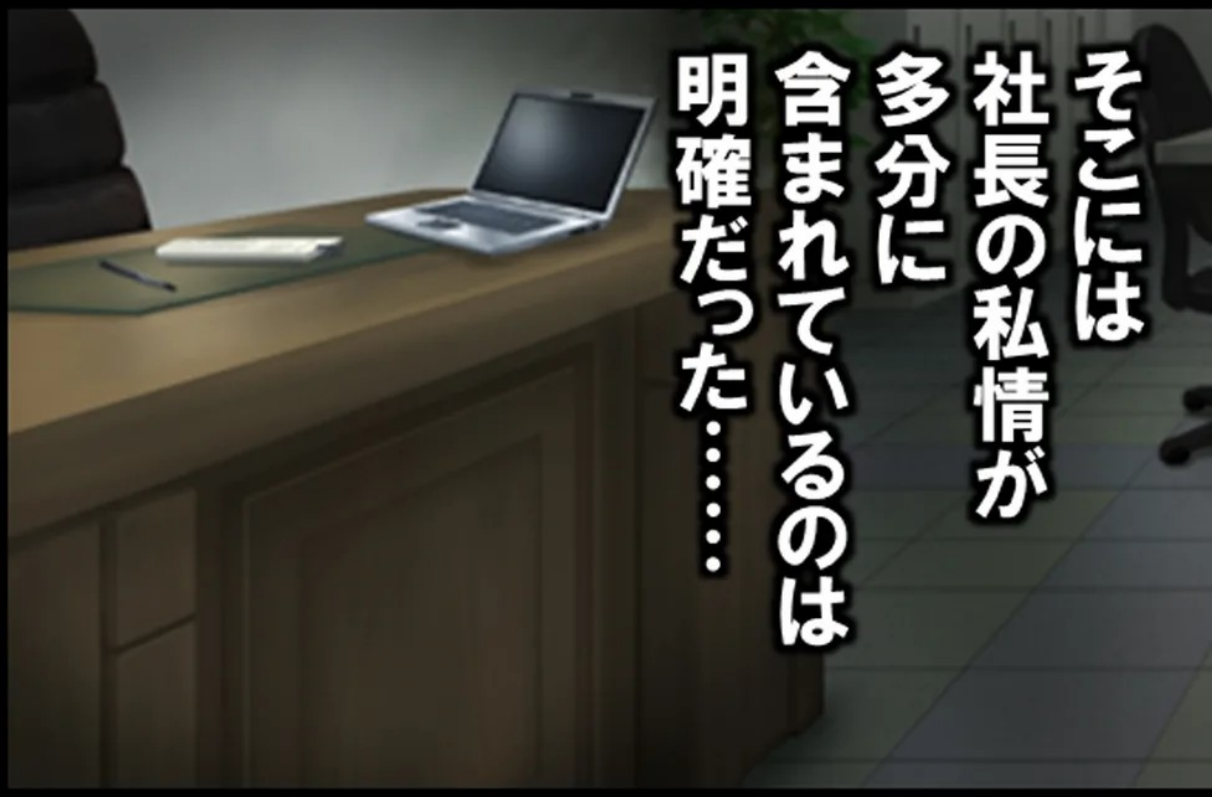
さぁ！
私をイカせて貰いましょうか！
これでイカせられなきゃ…
…分かるわね？
くっ――分かり…ました！
グヴヴ
パン！
パン！
パン！
パン！
ズチュ
チュブ
ズチュ
チュブ
ズチュ
チュブ
ズチュ

ちゅ
ぐちゅ
ちゅ
じゅ
じゅぷ
じゅ

生意気ィイ！
このチ●ポォ！
生意気よぉ！
あっ♡
あん♡
あっ♡
あん♡
ニヤ…
……
上手…　反則…
生意気……
なんて――
――道化ッ…

本来一大プロジェクトを任せられる程の人間が

失敗一つでクビにされ借金まで背負わされる訳がない



そこには社長の私情が多分に含まれているのは明確だった……

俺には才能があった――

女を喜ばせる才能が

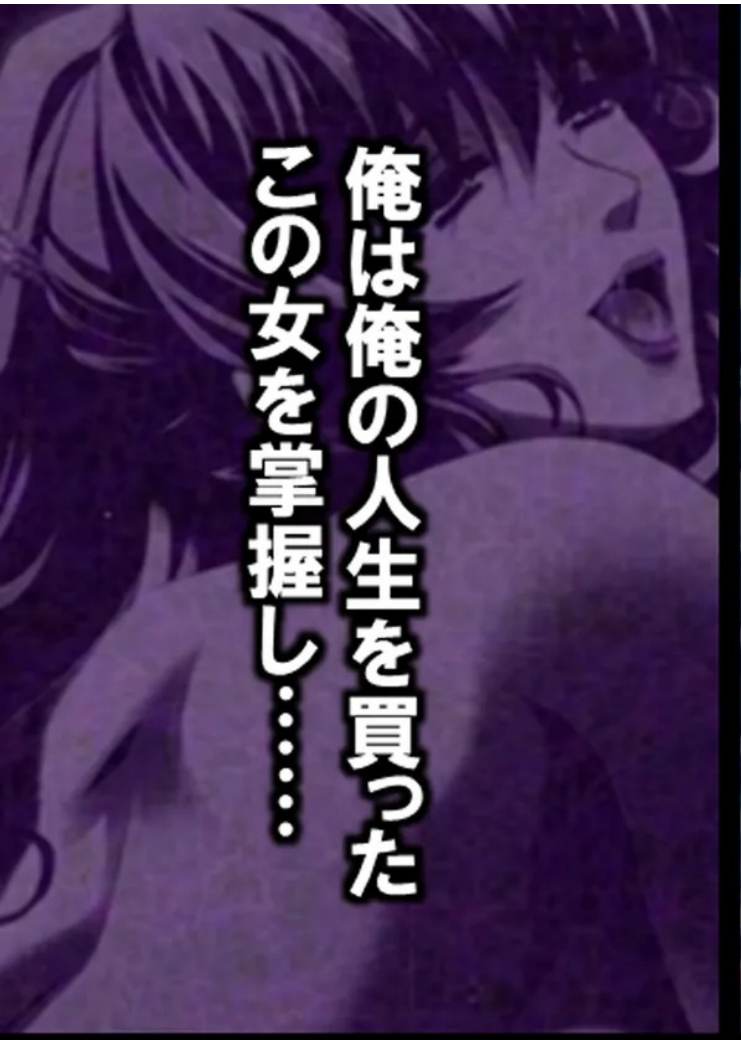
社長の愛人を奪い…
更に妻すら寝取り…
俺は成り上がった――

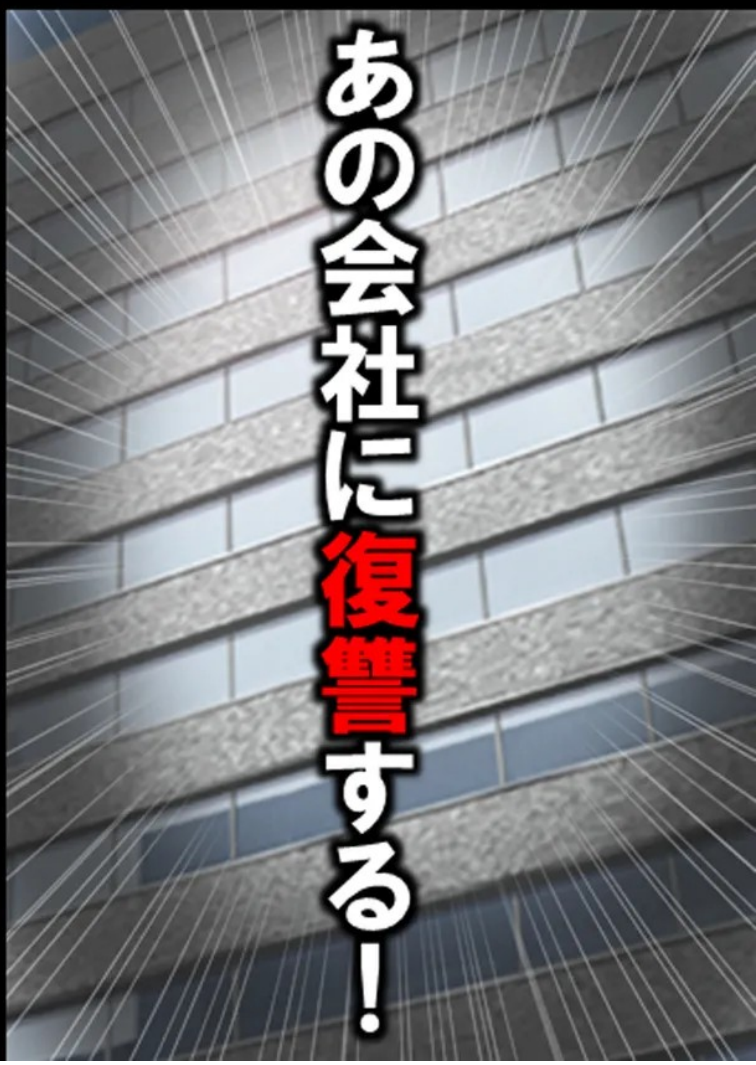
それが気に食わなかった社長の意図で
俺は貶められたのだ！

ならば俺は――

ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ
ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ

あっ!?
うそ!?
クるッ!
キちゃうぅ!


俺は俺の人生を買った
この女を掌握し……


あの会社に復讐する!

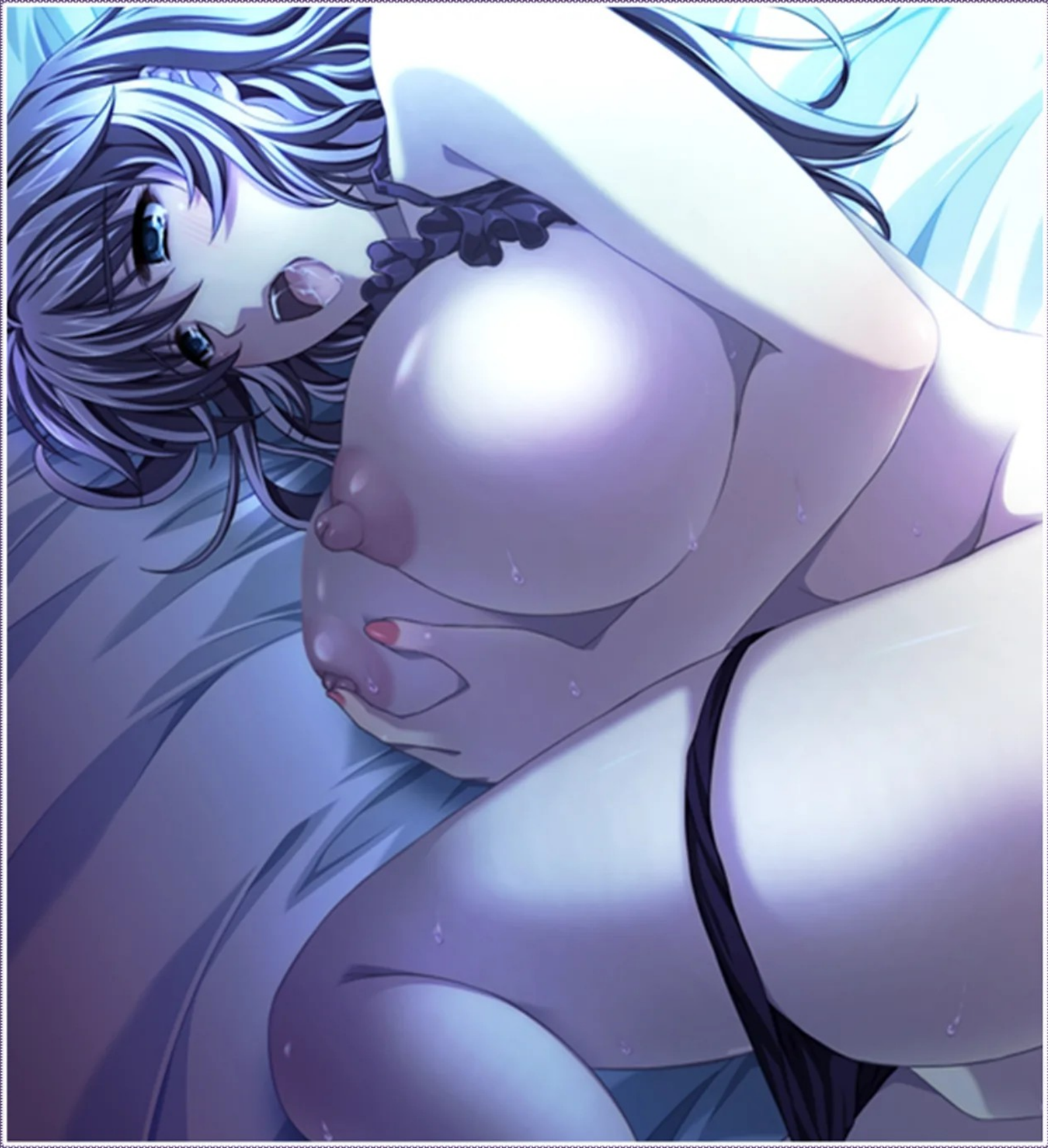
そして
俺は更に上へと…
グヴヴ

成り上がるッ！
ズ…パン！
あ…ッッ

あぁぁ～♡
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ

ビク!!
ビク!!
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビク!!
ビク!!
ゴゴゴ
あ…
は…
ん…
っ…
全く……
セ●クスだけは
上手な肉だこと……

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
有難うございます
お嬢様…
この女を堕とすまで
あと秒読みだ…
続く



- 第２話 -
「反逆の足音」

ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビグビグ
ビグビグ
ビグビグ
ビグビグ
ん…
あ…
は…
っ…
全く……
セ●クスだけは
上手な肉だこと……
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
有難うございます
お嬢様…

俺の一日は
この広大な
豪邸の掃除から
始まる……

そして
滝川京子を起こし
予定の確認――
お嬢様……
今日のご予定ですが
……

――出かける
予定があるの
ならば送迎……
そして戻ってから
豪邸の掃除を再開

庭の手入れまで入れて
一日の大半が終わる……

大半が掃除ではあるものの
その広大な敷地ゆえに
かなりの激務である……

大体の人間は体を壊し
使い物にならないそうだ…

だからこそ壊れる度
人を買い執事の代用を
させている　と――

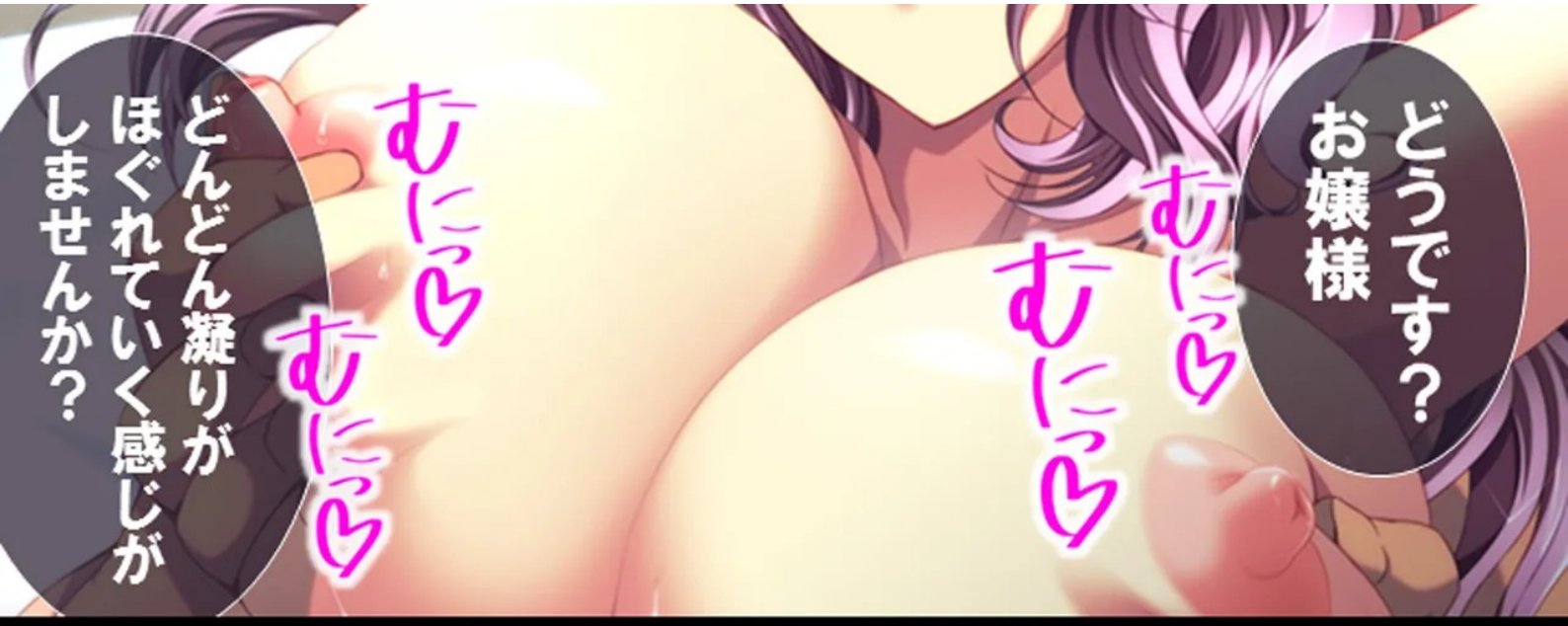
肉ッ！
どこにいるの！

遅い！
何やってるのよ！
グズ！
私が呼んだら
一秒で来なさい！

来たのなら
さっさと
肩を揉みなさい
分かりました……
調子こいて高飛車で
いられるのも今だけだ…
お前の体はもう

俺には
逆らえない事を
教えてやる！
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ちょ！？
おまぬけ！
私は肩を揉めと
言ったのよ！？

肩こりの主な原因は
この二つの大きな乳
むにっ♡
揉みほぐさないと
一生取れませんよ？
あぅう！？
ゾクゥ
あぐぅ…
ビク!!
ぷるッ
はぁあ…


どうです？
お嬢様
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡
どんどん凝りが
ほぐれていく感じが
しませんか？

馬鹿言わないで！
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
つ 強すぎる
くらいよ

そうですか…
なら――
グッ
グッ
グッ

ギュ…
ツボを更に――
ギュ…
――刺激するとしましょうか！
ちょ…ダメ！
ビク
乳首はッ！
ムニ
むにゅ
こりっ♡
こりっ♡
こりっ♡
ムニ
むにゅ
ムニ
むにゅ
こりっ♡
こりっ♡
こりっ♡
ムニ
むにゅ

ビクンッ!
あ……
あぁぁぁ〜♡
ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!

あんっ
あ…ッ
…っ…
ビク!!
ビク!!
ん…ッ
はぁっ
やぁっ
ビク!!
ビク!!
イってしまいましたね
お嬢様…
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
それでは
次の施術を
開始させて
貰います
ニイッ…

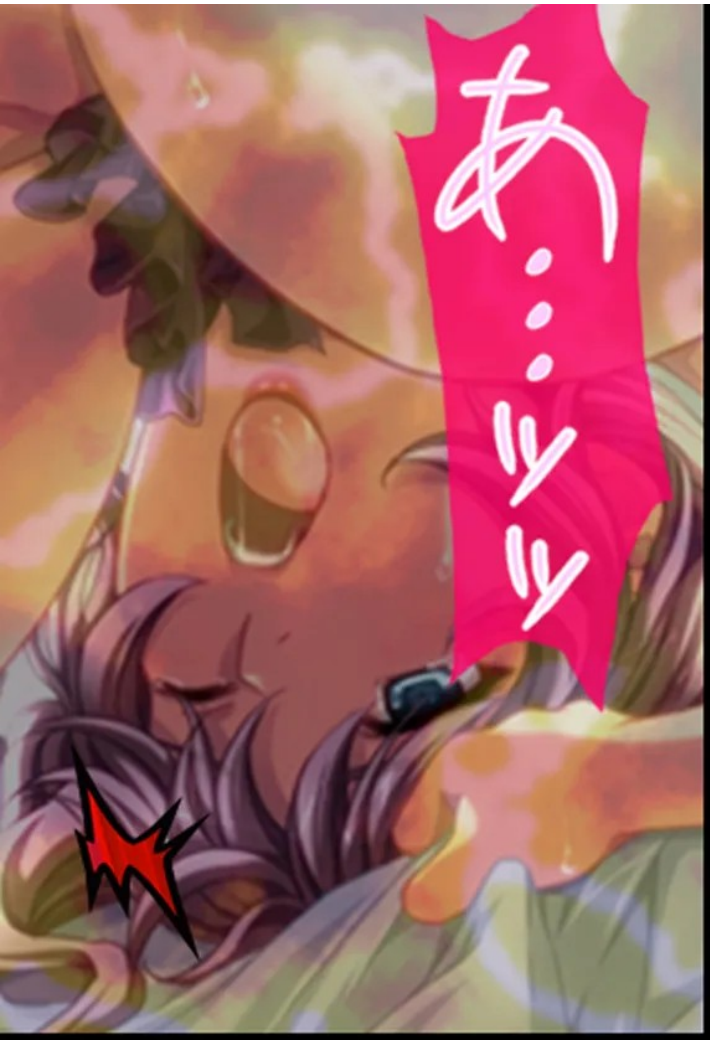
ちょ！？
肉ッ！
なんて格好を
させるの！？
グッ
フフフッ…
このような格好の方が
気持ち良いのですよ…
は 離しなさい！
たぷん
たぷん
無礼者！
許さないわよ！
たぷん
たぷん
ズブブブ

ほぉら——
犬みたいな格好で
入っていきますよぉ
イヴブブ
ズズ
ぬぷ…
ぬぷ…
ズブブッッ
そぉら…よっと！
ズブッ
ズブッ
あぐっ？！

ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
肉ぅ…　よくも私に恥をかかせたわね…
ん…
ん…
はぁ
はぁ
どういう処分を受けようと構わないという事よね？
ゴゴゴ
覚悟しなさい！お前の社会的地位を――

ひぐぅう!?
ズ
ズズズ
ズズズ
ズズズ
ズズズ
ズズズ
パン
パン
パン
パン
あっ♡
ん!?
あんあん♡

ま 待って！
このままじゃあ すぐに！
パン！
パン！
パン！
パン！
パン！
俺は無礼を働いて
人生も終わり
なんでしょう？
なら最後くらい
楽しませて下さい…
パン！
パン！
パン！
パン！
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク


あ…ッッ

ズ…パン！

ダメダメッッ！
激しすぎる
止めてッ！
お願いッッ！

分かったから！
お前を捨てないッ！
だから——
だからぁ！

グッ
ハハッ！
純粋に――
ならお嬢様
セ●クスを
楽しみましょう！
ズズズ
あッ！
クるクるッ！
やだぁあ！
こんな格好で！
パン
パン
パン
パン
あッ！
あッ！
ギュ…
イクッ！
イクゥ！

あぐっ!?
ビクッ♡

ズブ
ッ

ビュッ
どぴゅっ
ビュッ
どぴゅっ
どぴゅっ
ビュッ
どぴゅっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ガッツ
ぶるんっ!
ぶるんっ!
あん♡
んん♡

うっぐぅぅう…
も 漏れるぅぅう…
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ビュグッ
ビュグッ
ビュグッ
ビュグッ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ぬぽっ
ドビュッ

ビクッ…
ビクッ…
ビクッ…
ビクッ…
ッ…
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

こ
このぉ……

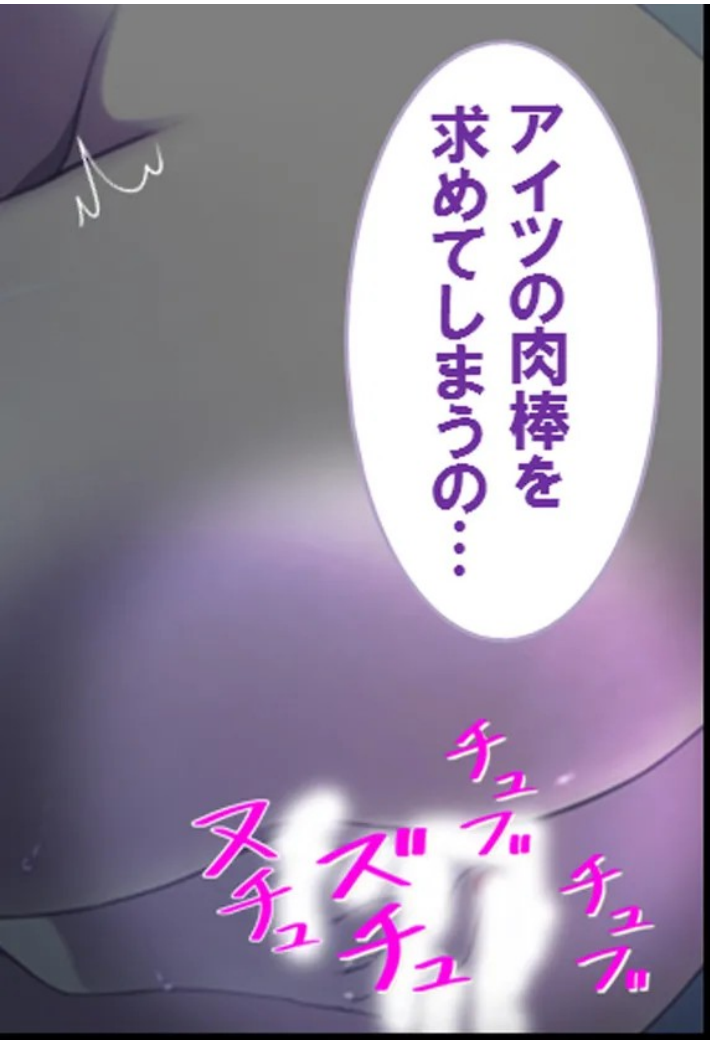
ギュ…

出て行きなさい下郎ッ！

あ あの男…肉の分際…でッ…

許せない…わッ…くッ…んぁああ…

でも…アイツの
セ●クスの腕だけは…
認めなきゃ…いけないわね
ん…
はぐ
ん…
はぐ
だ だって
こんなにも——
レちゅ
レちゅ
レちゅ
はぐ
はぐ
むにゅ
むにゅ
私を昂ぶらせて
いるんですもの
レちゅ
レちゅ
レちゅ


悔しい…
どうしてこんなにも
こりっ
むにゅ
こりっ
むにゅ

アイツの肉棒を
求めてしまうの…
チュブ
ヌチュ
ズチュ
チュブ

じゅ
じゅぷ
じゅ
ちゅ
くちゅ
ちゅ

あッ！
やだ！
キたッ！
イクゥ！

ズブッ
キュ…
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
ッ…
キュ…
プシャアアア

溺れているっていうの…？

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡

続く

- 第３話 -
「復讐の狼煙」

あッ！
やだ！
キたッ！
イクゥ！
ビクッ
ビクッ
ビクッ…
ビク!!
ビク!!
プシュッ
ヤアア
私ともあろう者が
たった一人の男に——
溺れているって
いうの…？

ククク…
やってる
やってる…

あんっ♡
あっ♡
ん…

そんなに
俺の体が
欲しいか…

また明日……

お前の体を
開発して
やるよ

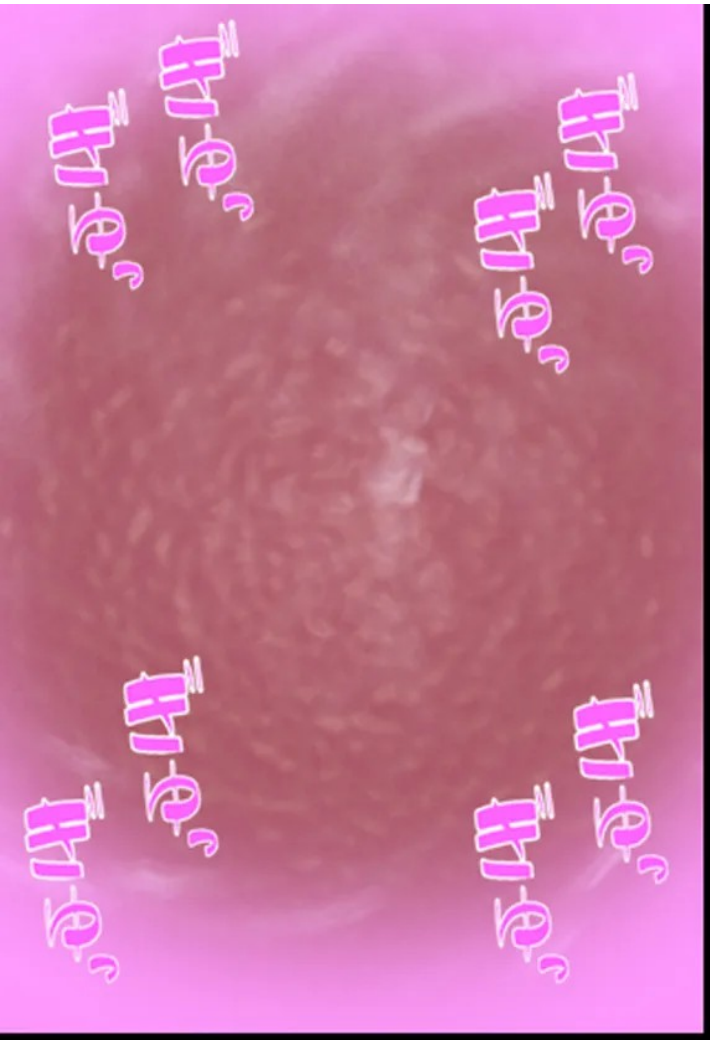
はいはい
もしもし
……
ニヤリ…
ただいま
代わりました
滝川…
このッ！
お電話が
きておりますが…
それを早く
言いなさいよ！

ビクン!?
ちょ 肉ゥ…
電話中よ！
やめなさいッ！
バッ!!

お嬢様…
何を仰るのです…
こういうのが――
ズブブッ
良いんじゃあ
ないですか♪
あッ♡
ビクッ!!
どうしました？
滝川さん
ん…
は…
っ…
あ…
ズッ
ズッ
果たして犬は
こんな風にじゃれて

ぬぷ…
ぬぷ…
ズブブッ
キますかねぇ！？
ズブッ
ズパン！

しゃぶ…ッッ♡
ん…♡
プルプル
プルプル
プルプル
プルプル
もしもし？
体調が悪いですか？
先程からなんだか…
い いいえ…
構わないわ……
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
少々今日は
熱っぽいみたい
ズチュ
ズチュ
ヌチュ
ヌチュ



今のこの状況に
興奮しているのが
丸分かりだぜ？
ニヤリ…

…ひぐう！？
ズウウウ
パン！
パン！
パン！
パン！
そんな…
激しく――
や　やめ…
やめなさい！
あ…
は…
う…
っ…
声が――
漏れちゃう！
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ズキ
ズキ
ズキ
ズキ
ズキ
そんな事言って…
お嬢様のオマ●コは
グッグッ

パン!
パン!
ズチュ ズブッ ズブッ ズチュ
ズチュ ズブッ ズブッ ズチュ
パン!
パン!
ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ
ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ ズチュ
あぐっ!?
ビクン!!
んあっ!?

あ…ッ
んッ♡
やら♡
はぁ♡
…っ…
では最後に商談の相手との会合はいつになさいますか？
その…商談の…件については…
っ…
ご 後日…都合のつく…日を聞いて——おいて
ん…
は…
あ…
ほぉら…ラストスパート——
グヴヴ
かけますよぉ～？
ま 待って！
もうすぐ終わる——
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ

パン!
パン!
パン!
パン!
パン!
ズチュ
ズッ
ズッ
ズチュ
ズチュ
ズッ
ズッ
ズチュ
ひぃやぁぁあ!
ダメ!
ダメ!
もうイッ――!
ズ
パン!

あ…ッッ
ヘコヘコ

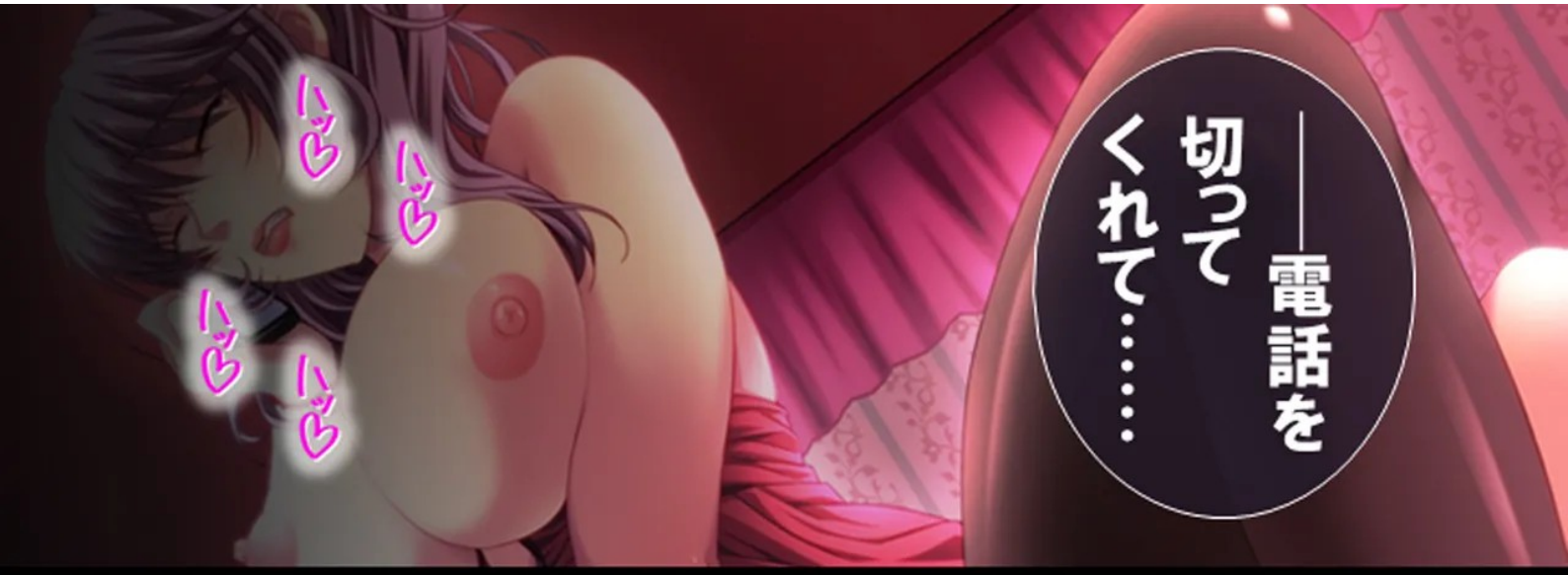
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!

…っ…
ん…
ん♡
はぁ♡
あっ♡
ブル
ブル
ブル

うっ！　くぅ！
お嬢様の中に全部注ぎ込みます
ビュッ
ビュッ
ビュッ
どぴゅっ
どぴゅっ
ビュッ
どぴゅっ
どぴゅっ

良かったですねぇ
丁度良く
電話先の方が――
ゴロッ

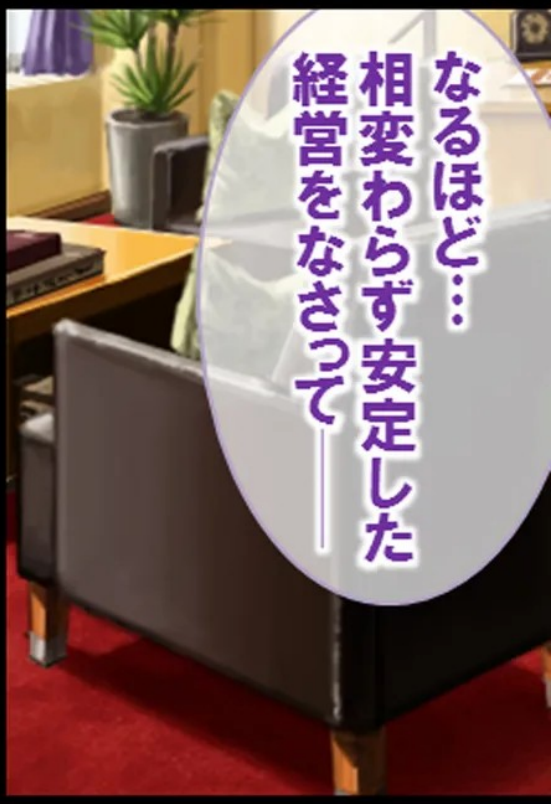
プ～
プ～
……


――電話を切ってくれて……
いっ
いっ
いっ
いっ

――後日…会合の日――

ようこそいらっしゃいました
お待ちしておりましたわ　社長

どこぞの
社長との
会合
その商談の
場で
この女は…
ヴヴ ヴヴ


なるほど…
相変わらず安定した
経営をなさって――

し しかし…
それほど多額の投資と
なるとこちらも…ンッ…
ブル ブル
ブル ブル
ぺろっ…
ぺろっ…

慈善事業では
ありませんので…
ハァ…その――
ヴヴヴヴ
ヴヴヴヴ

ビク!!
ビク!!
ヴヴヴヴ
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ん…♡
ん♡
あっ♡
つ…
ん…
あ…
つ…
は…
た 滝川さん？
いつもより歯切れが悪いですね…
すみません…
せ 先日より体調が優れておらず——

この女は……

膣にバ●ブをぶっ込んで恥辱プレイに勤しんでいる

そして

ヴヴヴヴ
ヴヴヴヴ

そのスイッチは俺が持っている

どうします？

体調が優れないのなら次回の機会に――

いいえ――

そのようなお手間を…かけさせる訳…には

ニヤリ…
カリ…
カリ…
カリ…
カリ…
ヴヴヴヴ
ヴヴヴヴ
くっ
ゾクゥウゥ

んん♡
ビク!!
ビク!!
ッ…
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ガシ
ガシ
ヴヴヴヴ
ガシ
ガシ

た 滝川さん…
ゴクッ

どうですか？

これからホテルで
商談の続きを行う
というのは――
ニヤリ…

お嬢様――
ピッ
ビクッ♡
お次の商談がございます……
執事の分際で
話に入って来ないでくれないか？
ギュ…
いいえ…

つ 次の会合があるので……
お断りさせて頂きますわ
ッ！
ガチャ
分かり…ました…では後日…
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ガ〜
ガ〜
ガ〜
ガ〜

それでは
ベッドへと行きましょう
お嬢様

もう媚びへつらうのは終わりだ…

- 第４話 -
「人間嫌いの悪魔」

それではベッドへと
行きましょう
お嬢様
ズチュ
ヌチュ
チュブ
チュブ
ん…
あ…
ア…
は…
バッ!!
——ッ!
ちょ ちょっと?
いきなり押し倒して
いつもと少し——
様子が違うわよ?!

もう媚びへつらうのは終わりだ…
媚びへつらうのは…終わり？
貴方――
自分で何を言っているか…
分かっているよ？お嬢様…
アンタが――

グチュ
グチュ
くぱぁ♡
グチュ
グチュ
俺の快感にハマっちまってるって事も♪
ニヤリ…
だからってアンタを殺すとか物騒な話をしたいんじゃあない
単純に――

所有物にしたいのさ！
ワ〜
ッ！
ぶちぶちぶち
痛ッ！
やめッ！
ボタボタボタ
ボタ
ボタ
ア…ッ…
ア…ッ…

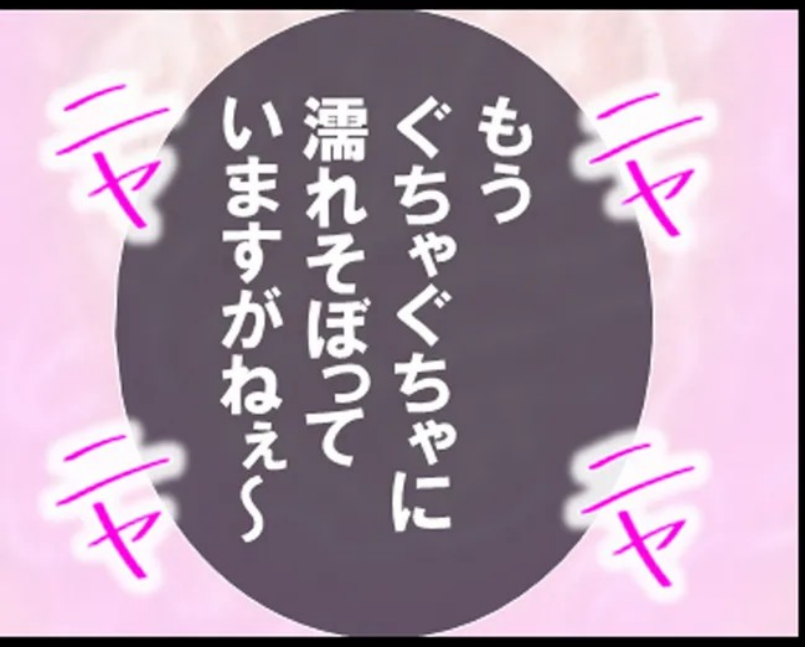
んんっ
はぁ♡
…っ…
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!

お似合いですよ
お嬢様……
んんっ
はぁ♡
はぁ♡
…その
乳首ピアス♥

このっ！
肉の分際で…
いっ♡
いっ♡
いっ♡
いっ♡
キズモノに
してッ！

ペラ
メニ

そういう割には——
ビクッ…
ビクッ…


もう
ぐちゃぐちゃに
濡れそぼって
いますがねぇ～
ニヤ
ニヤ
ニヤ
ニヤ

でぇ～もぉ～
アンタを犯すのは…

俺の事を
満足させたらな！
ワ〃〃

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
それじゃあ
ヤって貰おうか…

ビクッ!?

むにっ♡
むにっ♡
ギュ…
ギュ…
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡
むにっ♡

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
こ こうすれば…
良いの?

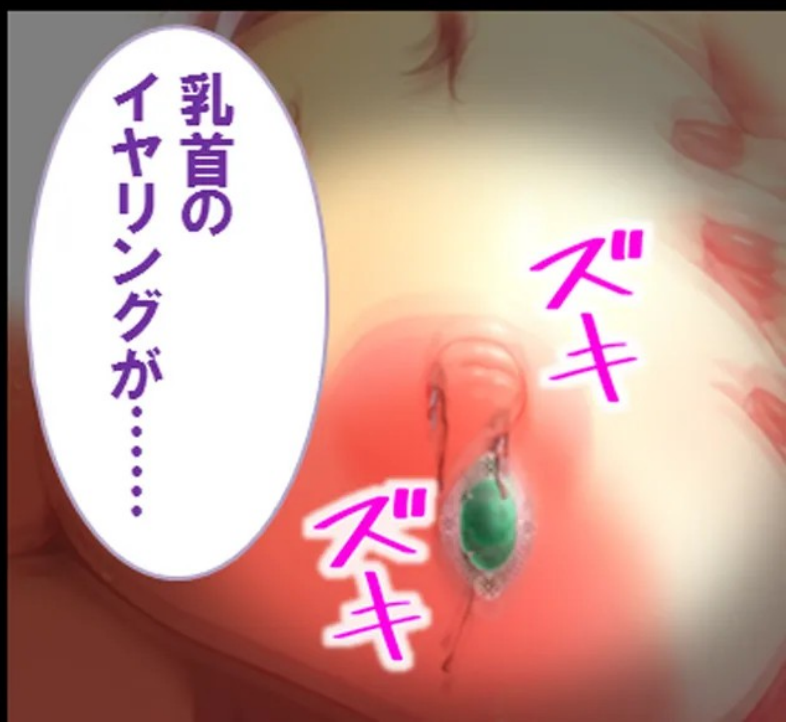
良いねぇ～
相変わらずの
ドでかいおっぱい…
たぷん
たぷん
たぷん
たぷん
包まれただけで
射精しちまいそうだ
しかし
乳首ピアスを付けた
途端――
随分と大人しく
なっちゃって♪
まぁ 俺は
その方が――
ワ゛ワ゛ッ

やりやすくて良いけどなッ！
パン！
パン！
パン！
パン！
ズズズ
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
んんッ！
ふあッ！
ゾクゥウ

おいおい
どうしたぁ〜？
まさか…
感じちまって
いるのかぁ〜！？
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡

だ だって——

……動く度に
刺激されて——
ズキ
ズキ


乳首の
イヤリングが……
ズキ
ズキ

感じちゃう！
ひひひ…
そりゃそうだろう
その…
イヤリングには…
淫欲を掻き立てる
匂いが出ている
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ふに
ふに
ふに
ふに

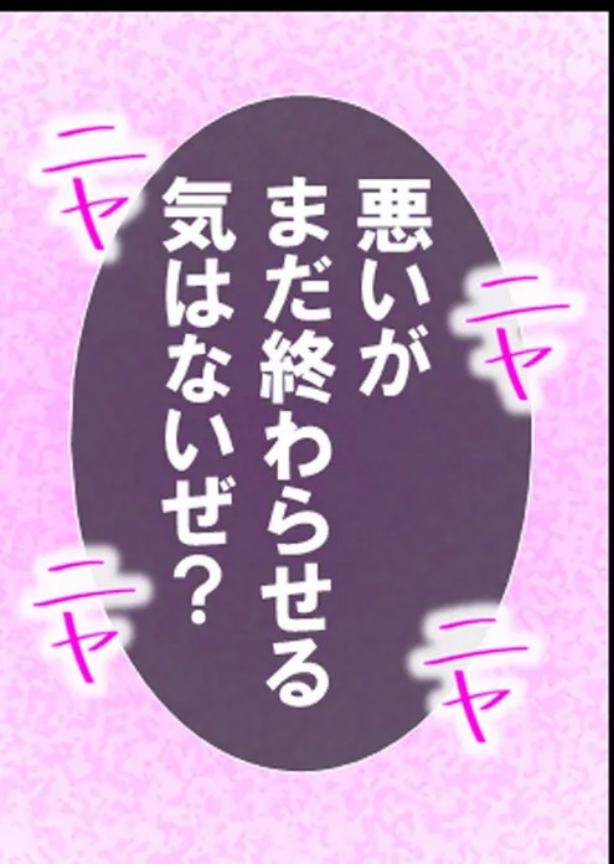
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
揺らせば揺らす程…
匂いが漏れてきて
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
たぷっ♡
情欲を掻き立てるって寸法さッ！
ムッワァアァ
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン

ズブブッ
ついでに言えば精液で——
グッ
ズブッ
更に匂いは強まるッ！
くぅ〜ッ♡

どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
ん……っ

ビクッ…
ビクッ…
ビクッ…
ビクッ…
ビクッ…
ビクッ…

ビク!!
あんっ♡
あっ♡
はぁ♡
やぁ♡
ビク!!
ビク!!
ビク!!


悪いが
まだ終わらせる
気はないぜ？

ハハッ！
パ●ズリだけで
イっちまったか？
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡

いやッ！
離して！

いやッ？
あんっ♡
んぐ♡
んあっ？
グブブッ

このままじゃ…
外に見えちゃう
こんな格好で…
いやッ！ いや！
…っ…
あ…
ん…
は…

良いから
大人しくしろ！
ガッ

――ったく…
相変わらず……
ぬぷ…
ぬぷ…
ズブブッ
うるせぇ女…
――だなッ！
ズブ
ズブ

んあっ？！
むぎゅっ…
むぎゅっ…
むぎゅっ…
むぎゅっ…
きゅっ
きゅっ
きゅっ
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
むぎゅっ…
あ…ッ
ん…
や…
…っ…
ビク!!
ビク!!
ビク!!

なぁにが嫌だよ…
アンタのマ●コは――
ぎっ
ぎっ
ぎっ
ぎっ
ぎっ
ぎっ
こんな状況で
俺のチ●ポに
しゃぶりついてるぜ
ニヤ
ニヤ
ニヤ
ニヤ
嘘よッ！
私は…
そんな下品な
女じゃない！

いいや…
アンタは下品な女さ
滝川京子
…っ…
やぁ
はぁ
ん…
むぎゅっ…
むぎゅっ…

アンタは幾人の
下々の人間を
踏みつけ見捨て——
その地位に
立っているんだろ？
そして気まぐれに…
…どん底に落ちた
人間を買い——
死ぬまで扱き使う
悪魔！　鬼の類だ！

その『怠惰』の性質から――
人間嫌い
ベルフェゴールそのものだッ！
その悪魔はなぁ～
排泄物が供物なんだまさに――
ワッ
ズブブッ
お前にぴったりだ！
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
あッいや！
こんなので
イクッ――
イクッ！

ズチュ
イケ！
ズチュ
ズチュ
イケ！
ズチュ
ズチュ
イケ！
ズチュ
ズチュ
イケ！
ズチュ
俺に屈服して…
ズッ
イケェエエ！
あぐっ？！

オラ…　喰らえ！
この下品女がぁあ！
ブブブ
ブブブ
ビヴヴッ
ビヴヴッ
ビヴヴッ
ビヴヴッ
くぅッッ♡
あ…っ♡
はぅ
はぅ
むぎゅっ…
むぎゅぅ…
ゴッ!!

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
むにゅ♡
むにゅ♡
むにゅ♡
むにゅ♡

ビュッ
ビュッ
ビュッ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
ビュッ
どぴゅっ

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
……っ…

これから…
た〜っぷり
可愛がってやるからな

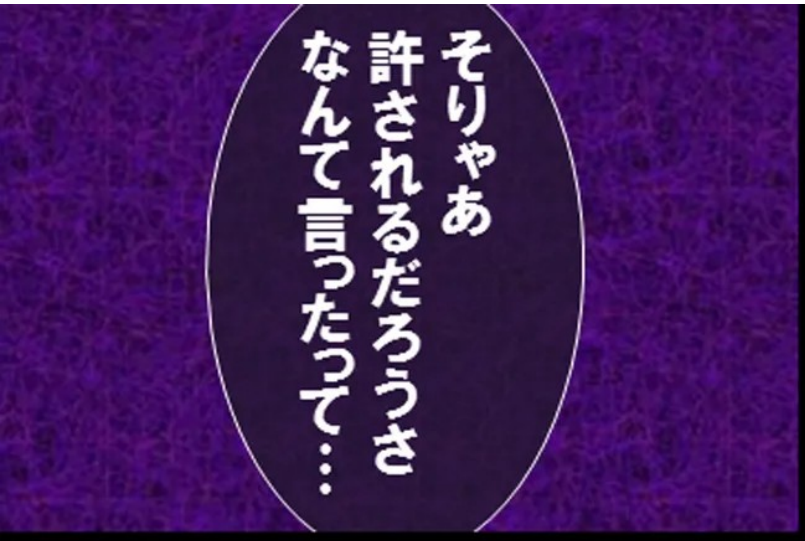
続く

- 第５話 -
「隷属した女」

オラ…　喰らえ！
この下品女がぁあ！
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビクッ
ビクビク
ビクビク
どろ…
どろ…
どろ…
どろ…
はぅ
やぅ
あんっ
あっ

これから…
た～っぷり可愛がって
やるからな
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
……っ…

その後――…


そりゃあ
許されるだろうさ
なんて言ったって…

ぬちゅ…

ハッ
ハッ
ハッ
ジャラ
ジャラ
ジャラ
ジャラ
こ こんな事して
許されると思ってるの？

ヌラ
ヌラ
ヌラ
ヌラ
ヌラ

そんな
格好なのに…
ヌレヌレ
なんだからなッ！

なッ！
違ッ！
いやいやいやいや…
完全に堕ちてるだろ
まぁ否定するのは
良いんだけど――

じゃあコレに
耐えてみな――
ニヤリ

ジュブ…

ズブ…

んんぅ♡

ハハッ！
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ヴヴヴヴヴヴ
バ●ブ挿れただけで声をあげてやがる！

うっ…くぅ！
くはぁぁあ——
ん…
は…
…っ…
あ…

ヴヴヴ

そんな
下賤な…
庶民の
道具なんか
ヌきなさいよぉ！
ヒヒッ！
ビク!!
ビク!!
ん…
っ…
あ…
っ…
ビク!!
ビク!!
庶民の道具ってまで
言っちまったか…
だがアンタは今…
その庶民の道具に――
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ

イカされそう
なんだぜ！？
ズブッ
ちゅくちゅ
じゅぷじゅ
ビクン!?
くぅ～ッ♡
あっ♡
いやぁ！
ユサッ
ユサッ
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ヴヴヴヴ
ヴヴヴヴ

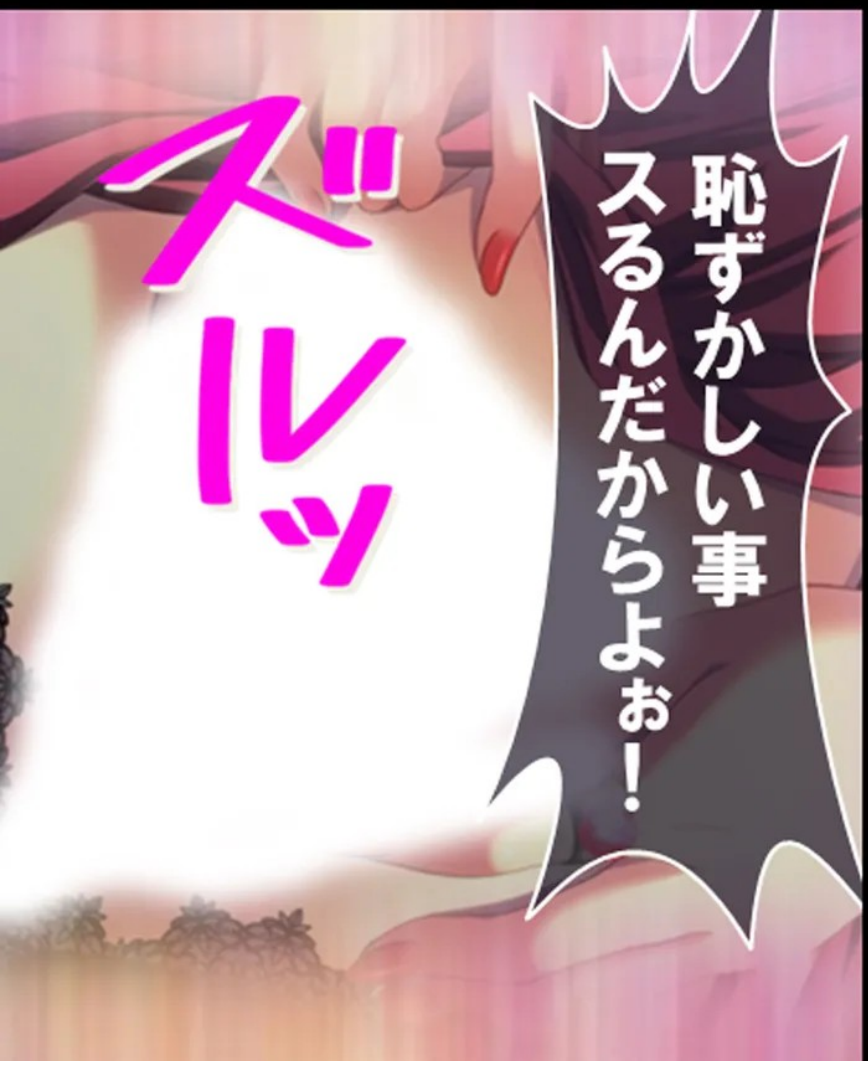
あ～あ
大見得切ったのに
ブ
ブ
ブ
ブ
ヴヴヴヴ
プシシトァァ
奥に
突っ込んだだけで
イってるじゃないか
んぐ♡
はぐ♡
あっ♡
あん♡
恍惚な顔
浮かべちゃって
まぁ――
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
さて――
次は
外に出ようか…
お嬢様♥

いやぁ～
風が涼しいですねぇ
こんな晴れた日は――
……っ
外で露出に限りますねぇ～
ズチュ
グチュ
ズチュ
グチュ
こんな所でこんな格好――
もぞ…
もぞ…
もぞ…
誰かに見られたらどうするの…
もぞ…
もぞ…
それが良いんじゃあないですか♪

…っ…
っ…
う…
そ　そんなに
見ないで――
――恥ずかしさで
どうなにかなって
しまいそう…

それにうっすらと…
ヌチュ　ヌチュ
ヌチュ　ヌチュ
濡れてるじゃあ
ないですか♪

何を言うんですか
お嬢様…
クッ!!
…これから
もっと――


恥ずかしい事
スるんだからよぉ！
ズルッ

いや…　もう
こんな辱め…
いやよぉお…

ゾクゥウゥ
――ッ!?

もぞ…
もぞ…
もぞ…
もぞ…
いつもの強気が
こんなにしおらしく
なっちゃって――

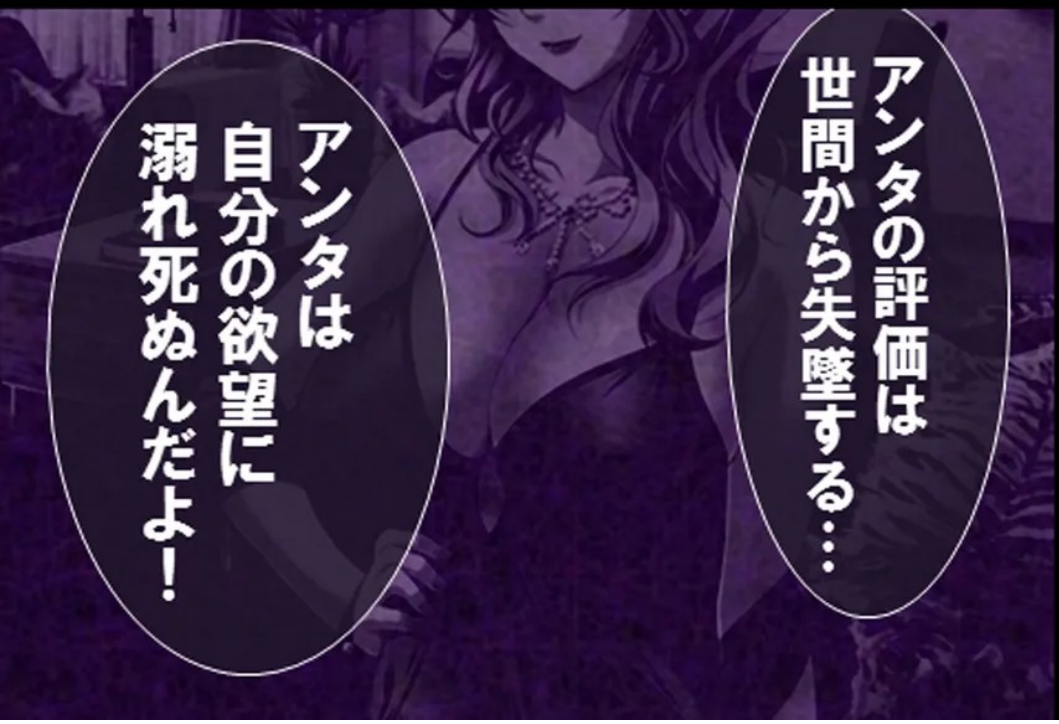
大手企業のお偉いさん
相手に大立ち回りを
見せつけていた――
女王様がッ!

自分の庭とはいえ
マ●コを丸出しに
しているなんて…
誰が想像するで
しょうねぇ～～～！

別に俺の事を
捨てても良いし
訴えても良いぞ？
う…
う…
ア…

アンタの事を
全てマスコミやら
週刊誌やらに――
――だが…

売り込んでやる！


アンタの評価は
世間から失墜する…
アンタは
自分の欲望に
溺れ死ぬんだよ！

だが俺に
従えばそれは防げる
俺もアンタと
離れたくはないんだ
なぁ？
素直になれ――
――快楽が
欲しいだろう？
ブ
グ
わ 分かったわよ！
従ってやるわよ…
だから！
だから
私の事ッ！
犯してッ！！

イイネェ～～～
良いよ良いよ！
滝川京子ッ！
その方が
女としてよっぽど
『らしい』ぜ？
それじゃあ
二度目の契約も
果たされた事で
女王様に
あるまじき…
立ち小便を
かまして貰おうか！

ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!

ハハッ！
ちゃんと全部
出しきったみてぇだな
じゃあ
早速ご褒美タイムと
行こうじゃあないか！
チョロ…
チョロ…
チョロ…
チョロ…
ブル
ブル
ブル

ほぉら…
お前が望んでいた
チ●ポだぞぉ～
ズブブッ
アッ――
はぁあああああ…
入って…
きてるぅ…
ぬぷ…
ぬぷ…
ズブブッ
ズブ

そらッ！

ズブッ

あぐっ？！

ビク!!

ビク!!

ビク!!

ビク!!

ギュ…

ギュ…

ギュ…

ふ…

も…

あぁあああ…
大きいのキたぁあ…

どんだけチ●ポ好きなんだよ？
ギュ…
ギュ…
ギュ…
ただ挿れただけでチ●ポ
ビー
滅茶苦茶締め付けてくるぞ
ニヤ
ニヤ
ニヤ
ニヤ
ご褒美なんだし？存分に――
ズブッ
ズブッ
パン！
パン！
パン！
ズダッ
ズダッ
ズダッ
ズダッ

気持ち良くなっちゃえよ！
あぐッ！
あはぁ！
あぁあ！
パン！
パン！
パン！
パン！
ズブッ
ズブッ
ズブッ

なに!?
これ!?
嘘ッ!
嘘よッ!

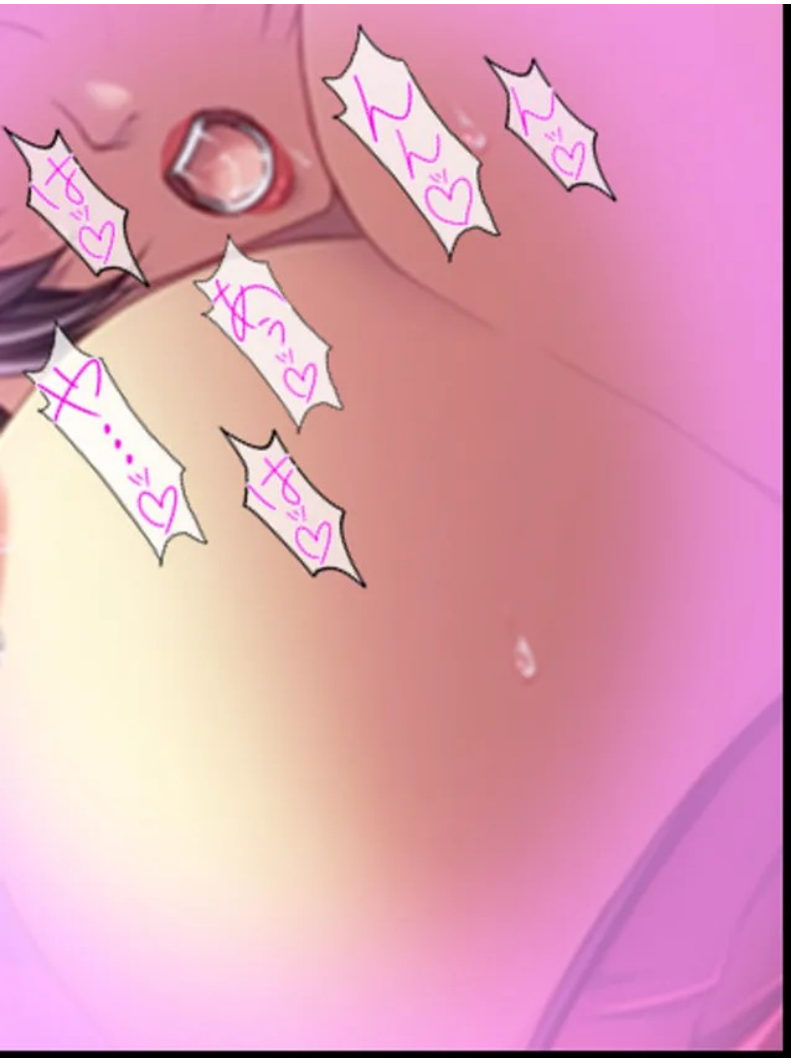
こんな気持ち良いなんてッ!
今まで味わった事ない快楽がぁ!
パン!
パン!
パン!
パン!

なだれ込んでキちゃうぅぅぅ!
ビクビク

ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ

イっちまえぇぇ！
パン！
あ…♡
ズン

あっ♡
たぷん
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ
あぁぁぁ〜♡


んぐ♡
あっ♡
はぁ♡
や…♡
はぁ♡

ドビュッ
ドビュッ
ドビュッ
ドビュッ

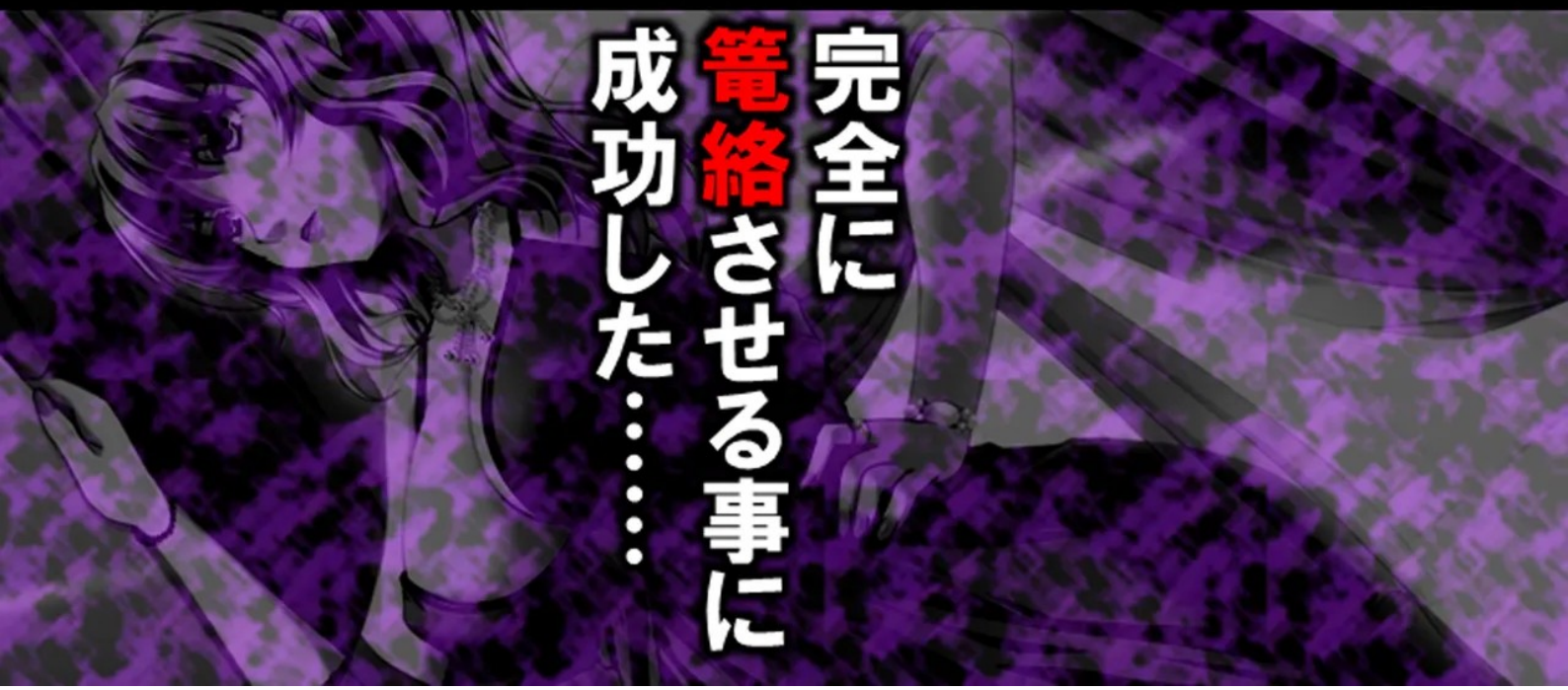
気持ち良かったな
お嬢様♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
続く

- 最終話 -
「結婚式」

あ…♡
イっちまえぇえ！
ズッ
パン！
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
あぁぁぁ～♡

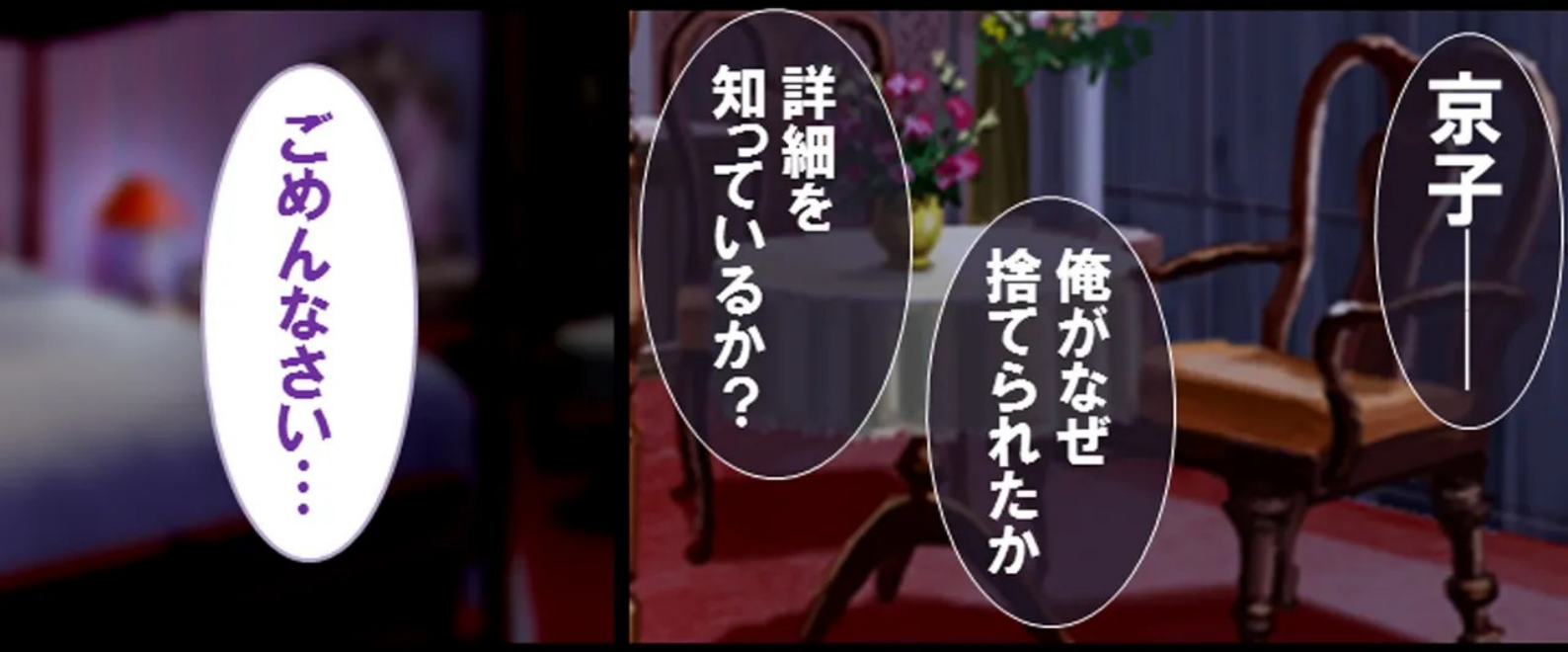
気持ち良かったな
お嬢様♥
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

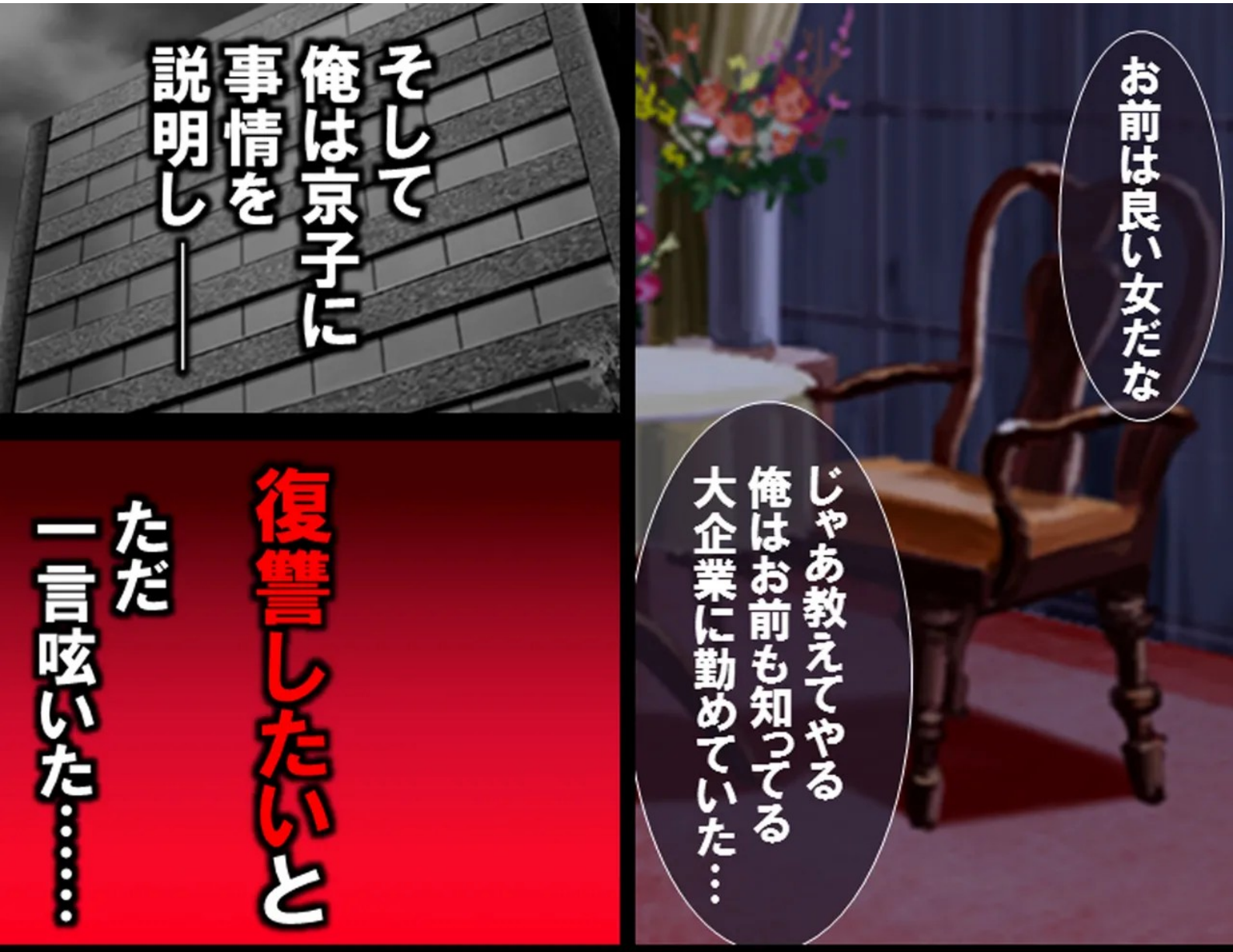
――そして俺は
日本有数の
資産家
滝川京子を……


完全に
篭絡させる事に
成功した……

…それからは

ただの作業で
しかなかった…




お前は良い女だな
じゃあ教えてやる
俺はお前も知ってる
大企業に勤めていた…
そして
俺は京子に
事情を
説明し――
復讐したいと
ただ
一言呟いた……

そこからは
一足飛びのように
事が運び――
滝川の方から
関連企業に
圧力をかけ……

契約が切られ…
完全に
会社として孤立

呆気なく
立ち
行かなくなり

数ヶ月で
倒産した――

復讐が
完遂され
間もなくして
俺は……

滝川京子と
結婚した

復讐が
完遂出来たら
結婚する
という約束を果たす
チュパ
チュパ
もじ…
もじ…
もじ…
もじ…
チュプ
ヌチュ
チュプ
ヌチュ

晴れてお前は
俺のモノになるんだ
だからもう……
…っ…
は…
っ…
ん…

あの乳首ピアスは
もう外させて貰った

じゅる
じゅる
じゅる
じゅる
代わりに
この媚薬効果のある
酒を飲ませてやる
頭がぼーっと
してくるだろう？
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
次第に全身が
性感帯になってくる
乳首は触られるだけで
軽く絶頂し――
ぴくっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
陰核の感度も
通常の十倍にも
なる……
ニュプ
ヌチュ
ズチュ
ヌチュ
ズチュ
ニュプ

メニュー
メニュー
メニュー
メニュー
ハハッ！
早速効果が出てきたじゃあないか
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ブル
ブル
ブル
ギュ…
あん♡
ん♡
は♡
は♡
良いんだよ？京子
もう恥も外聞も全て捨てて——
クリ
ニュプッ

女になれッ！
ズッ
ちゅくちゅ
じゅぷじゅ
ビクン!?
ビッ
んぢ
ツッ
あ…う
ビク!!
ユサッ
ぴくっ…
ぴくっ…
ぴくっ…
ピンッ
ピンッ

指に
吸い付いてくる
ぬちゅ…
ギュ…
ギュ…
よっぽど
気持ち良かったんだな

はぁあああああ——
あッ…あぁ…
まだ披露宴には
時間がある…
一発ヌいてから
出向くとしよう

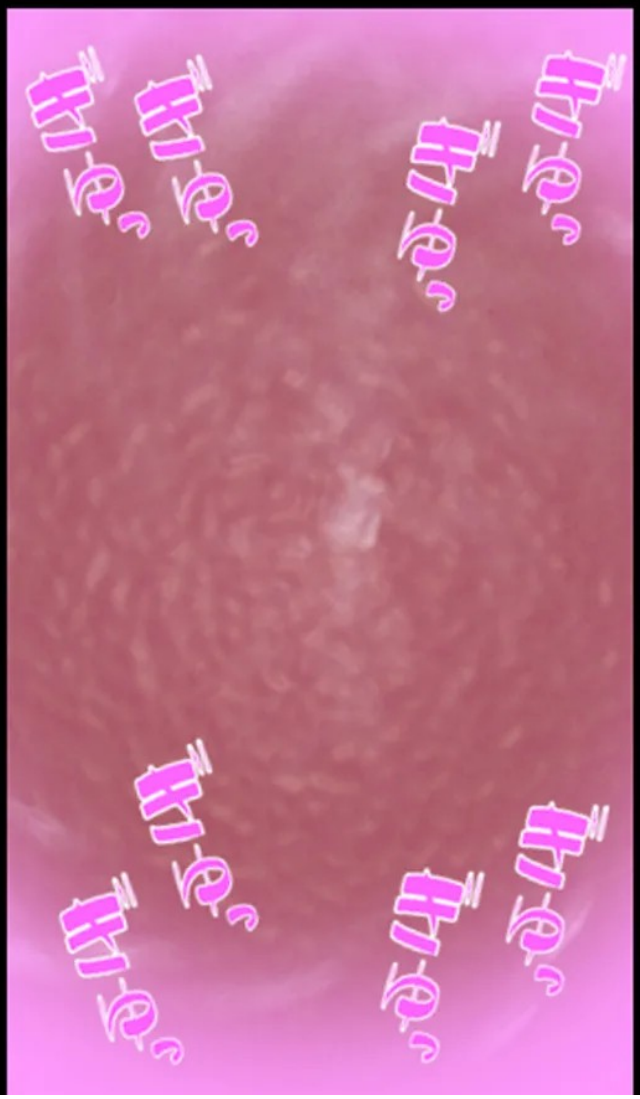
下品すぎるぞ？
京子
ニュプッ
披露宴が
始まる頃には
いつもの女王様に…
ワ〜

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
あぁあああああ…
大きいのぉ…
ちょうらいいいいい…

ぬぷ…
ぬぷ…
ズブブッ
戻るんだッ！
ズブ
ズブ
アッ！
ビクン！
キたぁああ！

あぁあああ…
最高…
このオチ●ポ…
最高しゅぎるぅ
グチュ
ニュプ
ニュプ
グチュ
おっ…
ぐぁあああ…
こりゃ凄いな

こんなに
吸い付いてくる
マ●コは今まで——
ハッ♡
ハッ♡
ニュプ
ニュプ
ハッ♡
ハッ♡


ヒーロー
ヒーロー
ヒーロー
ヒーロー
ヒーロー
ヒーロー

…なかったぞ？
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡

ワッワッ
ここまで精子を吸い取ろうとしてくると俺も……
ズチュズッズッズチュ
ズチュズッズッズチュ
パン! パン!
パン! パン!
頑張らなきゃな!
ズズ ズズ ズズ ズズ
チュチュチュチュ チュチュチュチュ
ズズ ズズ ズズ ズズ
チュチュチュチュ チュチュチュチュ
あぁあああ!
しゅごッ!
しゅごいいいい!
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ

こんなの…
耐えれない！
らめッ！
らめッ！
パン！
パン！
パン！
パン！
がくがく

じゅ
じゅぷ
じゅ
ちゅ
ぐちゅ
ちゅ

くっ——
俺も腰が引けてきた
ズッズッズッズッ
もう限界が近いかッ！

ちょうらい…
貴方の精子――
子宮に…
ちゃうらいいい！
ズチュズチュ
グチュグチュ
ハハッ！
ド淫乱に
育ってくれたものだ
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ユサッ
ユサッ
ユサッ
ユサッ
俺の子種を
待つ姿は犬畜生と
何も変わらないな

犬でも淫乱でも…
何でも良い…
あん♡
何でも良いから！
早く…早くぅ！
あん♡
はぁ♡
はぁ♡
んべぇ…
ちょうらいいい♥
全く…
犬にはしっかりと
躾を――
グッ
グッ
しないとなぁ！
パン！
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
パン！
パン！
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
パン！

あはぁあん！
キたぁあ！
イクイク！
イっちゃうぅ！
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
イケ！
ズチュ
ズパン！
イケェエエッ！

あ……ッッ
イ
ッ
ち
ゃ

あぁあくぅ♡
あんっ♡
あっっ♡
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ギュ…
うっぐぅおぉお！
あぁああ…

レちゅ♡
レちゅ♡
ぐぅううう！
絞られるぅ！
ビク!!
ビク!!
あ…ッ
はぁ
…っ…
はぁ
ビク!!
ビク!!
はぁあああああ…
子宮に…注がれてるぅ
ニュプ
ニュプ
ニュプ
ニュプ
ニュブブッ

どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
どびゅっ
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ビク!!
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
ばるんッ
んぐっ!?
んぐっ!?
んぐっ!?
んぐっ!?
んぐっ!?

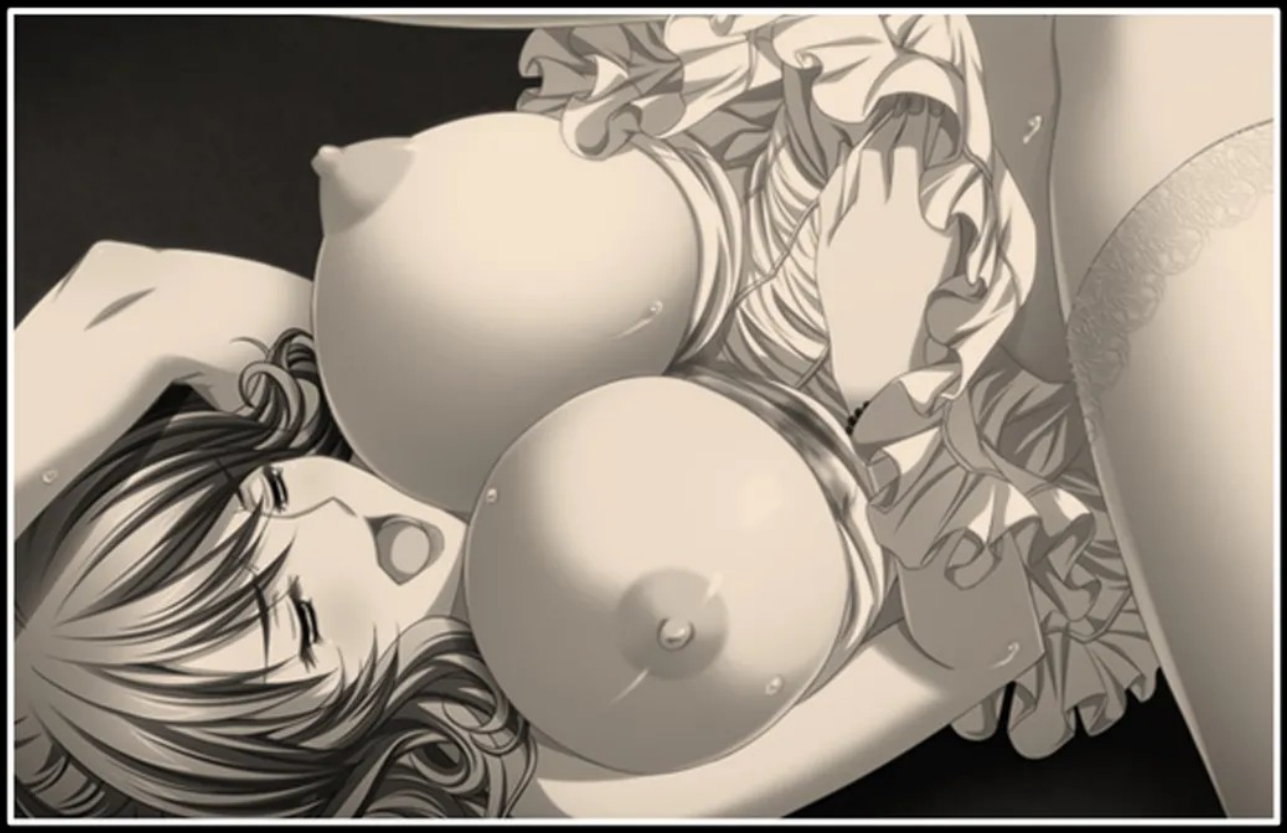
精子のマーキングだ
喜んでくれるね？京子♥

ハッ♥
ハッ♥
ハッ♥
ハッ♥
もちろんよぉ…あ・な・た♥
完

読みきり傑作集

あまからや

著者：あまからや



ご購読、ありがとうございました